

# とっとり県政だより

2020(令和2)年4月号 通巻720号 毎月1日発行 各世帯配布

2020

「永江ささえ愛カーシェアクラブ」会員の小山さんの外出を  
ボランティア運転手の根本さんが支援



## 目次

P2 特集

**「楽しみながら」が何より大事**  
～地域に合った移動を模索～

P6 広報課 取材メモ

**誇りの桜、守り継ぐ**  
かはんくらぶ  
河畔倶楽部(南部町)

P7 あの人この人

**緑へのあふれる思い伝える**  
えんどう かよこ  
遠藤 佳代子さん(八頭町)

P8 県政トピックス

- 盲ろう者支援センターに相談を
- 県立中央病院、がん医療を強化

P10 お知らせ

P14 手話を覚えてみよう  
県広報のお知らせ

P15 読者の声・県産品プレゼント

P16 かみかみレシピ



<https://www.pref.tottori.lg.jp/kenseidayori/>

月に6、7回、通院や習い事のために大和ふれあいタクシーを利用している有田映子さんは「自分の日程に合わせた予約ができて助かっている。地域の人が運転手で安心」と話す(鳥取市)



# 「楽しみながら」が

# 何より大事

## 地域に合った移動を模索

中山間地域が大部分を占める鳥取県は、過疎化・高齢化の進行によるバス路線の減少により、生活の移動手段に困る集落が増えつつあります。そんな中、各地で、日本財団や県などの助成制度を活用し、地域交通の活性化と

まちづくりを組み合わせた活動が進んでいます。紹介する活動のポイントは、住民が楽しみながらの実践を重要視していること。事例をヒントに、地域に合った移動手段の在り方を考えてみましょう。

快適に暮らす手段を考える

日常生活の移動手段への意識は、住む地域によって異なります。『国土交通白書2018』によると、人口規模が小さい地域ほど自動車が必要では生活できず、公共交通の不便さを強く感じる傾向にあります。

県内では、バス利用者の減少や運転手不足により、廃線や減便など運行が縮小。その不便さから利用がさらに遠く悪循環となっておりま。一方で、高齢運転者による交通事故の増加を背景に、運転免許を自主返納する高齢者の増加が見込まれます。こうした車を運転しない高齢者や児童生徒などにとって、公共交通機関は必要不可欠。病院や学校などへの移動手段は確保されなければなりません。

鳥取市は19年12月、今後5〜10年後に縮小・廃止の可能性があるバス路線を盛り込んだ公共交通の基本指針の素案を示しました。住民や事業者と共に実情に合った交通手段の検討を始めます。地域で快適に生活するにはどんな移動手段を選ぶか、皆が考える好機です。

## 公共に代わって住民が運ぶ

「公共交通空白地有償運送」とは、バスやタクシーなどの移動手段が確保できない場合、非営利団体が営業目的と見なされない対価で自家用車を使って提供する運送サービスです。実施には、住民代表、交通事業者、行政などで構成される「地域公共交通会議」の承認と運輸支局への登録が必要。県内には現在、下表の7団体が登録されています。

鳥取市の大和地区まちづくり協議会は、2019(平成31)年3月末のバス路線廃止に伴い、市の補助制度を活用して、このサービスを始めました。市町村や特定非営利活動法人ではなく、住民組織による同事業は県内初。実施に当たっては、バス路線の廃線まで限られた時間の中で、車の確保や運転手の養成、経費負担など課題は多くありました。しかし、移動手段の確保に対する住民の期待に応え、みんなが安心して暮らせるようにと、まちづくり協議会が立ち上がり、実施することになりました。

### 県内の公共交通空白地有償運送

運営主体	運行区間
① (特非)OMU	鳥取市末恒地区
② (社福)鳥取市社会福祉協議会	鳥取市福部町
③ 大和地区まちづくり協議会	鳥取市大和地区
④ (特非)ワーカーズコープゆいまる	若桜町屋常羅、高野地区
⑤ (公社)智頭町シルバー人材センター	智頭町内
⑥ (特非)たかしろ(※)	倉吉市高城地区
⑦ (特非)多里まちづくりサポートセンター	日南町多里地区



※特定非営利団体たかしろ(倉吉市)の活動は、県政だより2018(平成30)年9月号特集(4頁)で紹介しています。



住民の意見を聞き、柔軟な運営が大切と話す事務局長の中村さん

「大和ふれあいタクシー」と名付けられた10人乗りのワンボックスカーは、2019(平成31)年3月に廃止されたバス横枕線とほぼ同じコースを、予約制で運行しています。予約は同協議会事務局の中村徹さんが電話やメモの手渡しな

どで受け、自ら作成したシフト表を基に当番運転手に知らせる仕組みです。

同年4月の開始から年末までは高齢者の利用が主でしたが、冬季間は、美和小学校児童12人も加わりました。毎朝、保護者に見送られた児童は、運転手にあいさつをして車に乗込みます。子どもたちは満席の車の中でマナー良く乗車し、笑顔で降車しています。「以前送り届けた児童に、畑で『おっちゃん』と声を掛けられたことがうれしくて『無理のない範囲で続けたい』と運転手が話し

## 触れ合い深める地域の車

大和地区まちづくり協議会

ていた」と言う中村さんにも笑顔が。保護者にも「決まった時間に送ってもらえて助かる」と喜ばれています。冬季間の児童の利用によって初年度の1カ月当たりの平均延べ利用者数は約50人、見込みの30人を超えました。

中村さんは「目標は市の循環バス『くる梨』。大和地区をくまなく回る大和ふれあいタクシーに」と意気込みます。



雪が降った朝も、大和ふれあいタクシーで遅れることなく学校に到着した子どもたち(写真提供=大和地区まちづくり協議会)

## カーシェアが支え合い生む

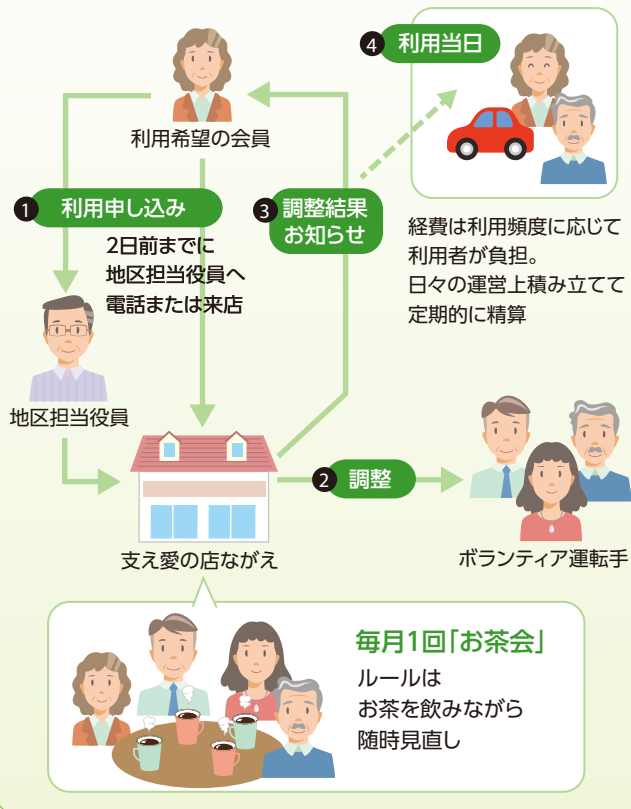
地域の会員制グループで自動車を共同使用する「コミュニティ・カーシェアリング」は、送迎だけを目的とせず、地域の楽しいサークル活動として車を柔軟に活用する取り組みです。

東日本大震災を機に始まった活動で、一般社団法人日本カーシェアリング協会からリースされた車両を、会員制の住民グループが共同利用。グループ会員の通院や買い物、会合への参加などに相乗りで使います。鍵の管理や利用予約、経費負担などを会員同士で決める過程で交流が生まれ、助け合う土壌ができ、楽しみつつ支え合う地域づくりも進んでいます。

県内では米子市永江地区で、県と日本財団の共同プロジェクト「互助交通を通じた地域人材育成」事業の助成を受け、2019年11月に本格運用が始まりました。この「互助」の取り組みはさらに、大山町逢坂や倉吉市小田東など他の地域にも広がっています。

### 「コミュニティ・カーシェアリング」の特徴 ※1

- 目的は「支え合う地域づくり」
- 地域の人たちができる範囲で運営する
- 経費は実費を平等に分担し、定期的に精算



### ■各地で試験運用始まる

大山町では2019年8～10月、地域自主組織「やらいや逢坂」が、地区行事への参加・協力に移動手段がなくて困っている人の送迎に、倉吉市では20年1～4月、小田東地区住民有志の会が、車椅子で暮らす児童の中学進学を機に、通学、高齢者の買い物・通院先への送迎に試験運用を実施。



### 仲間がいること 知らせたい

永江ささえ愛カーシェアクラブ  
代表 木下 博夫さん

住民が集う「支え愛の店ながえ※2」を拠点とし、地域交流を深めようと「コミュニティ・カーシェアリング」を始めました。導入への不安はあったものの、店の利用者にニーズ調査を実施したところ、通院や買い物などに使いたいとの声が集まりました。まずは自分たちの車を使って、その後リース車での試験運用を経て、本格運用へ。試験運用での買い物ツアーは、利用者から「品物を仲間と選べて楽しかった」との声が聞かれ、運転手も「利用者に喜ばれ、うれしかった」と交流の深まりに手応えがありました。

19年11月に運営主体「永江ささえ愛カーシェアクラブ」を設立。会員は現在、利用者、ボランティア運転手、役員など60人を超え、今も口コミで増加中です。平均年齢70代後半の利用者の通院や買い物などの外出を、平均年齢75歳の運転手11人が支えています。

とはいえ、ただの送り迎えではありませんよ。一人暮らしの高齢者には「家まで迎えに行くから買い物に行こう」と声を掛ける。見守りにもつながります。さらに、毎月行うクラブの「お茶会」で、ざっくばらんに意見を出し合い、今後の活動に生かす。こうして車両を共同利用することで住民同士のつながりができ、一歩踏み出せばそこに地域の仲間がいることを、外出をあまりしない人にも知ってもらいたい。外出のきっかけに、また、会員が増えて交流が活発になるきっかけになればいい、そんな思いで運営しています。

※1 参考:(一社)日本カーシェアリング協会「コミュニティ・カーシェアリング実践ガイドブック」  
※2 とっとり県政だより2016(平成28)年2月号広報課取材メモ(10頁)で紹介しています。

境港市小篠津町では、2019年10月から市の循環バスを活用した買い物ツアーを実施しています。同町は、高齢者によるサロン活動が20年近く続き、18（平成30）年には境港市社会福祉協議会（市社協）の支援の下、支え愛マップを作成するなど自治活動が活発です。

とはいえ高齢化が進み、移動は懸念材料。自治会長の木村幹夫さんは、すぐ近くにバス停はあるものの乗り方がよく分からない循環バス「はまる一歩バス」に着目しました。サロン開催日に市職員を招き、バス乗車講習会を実施、時刻表の見方や乗り方を学びました。その際、無料券をもらったことから、早速使ってみることに。市社協生活支援コーディネーター・志賀智子さんの提案で買い物ツアーを実施、



会長の木村さん

22人が参加した初のツアーは、集会所近くの停留所からバスに乗り、市内の大型スーパー「PLANT-5」へ。店内では5、6人のグループに分かれ、一緒に商品を探したり、支払いを手伝ったり。参加者からは「周りに迷惑が掛かる

境港市小篠津町自治会

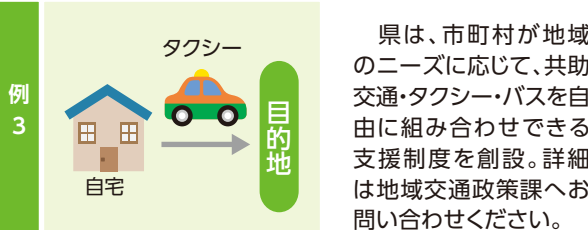
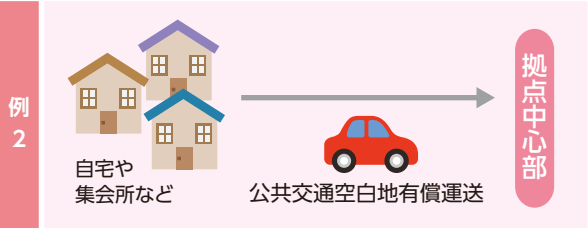
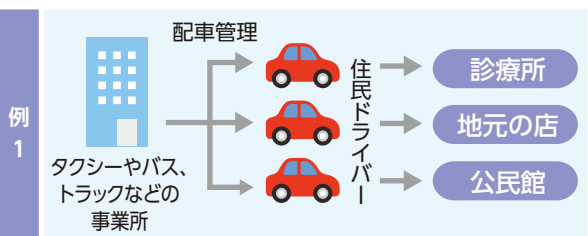
## あるもの利用し、価値高める



買い物ツアー実施前に境港市と店に会長が連絡してバスを利用。定員を超える場合、自治会が車を出すことも（上）自分で見て買い物することが、外出に自信と楽しみを生む（左）（写真提供=境港市社会福祉協議会）

のではと思ったが、みんなと一緒に安心した」「欲しい物を選ぶ楽しさがある」と好評。一方、店からは地域貢献として店オリジナルの「小篠津カード」が発行。来店たびにカードにシールを貼り、それがたまと生活用品に交換できる楽しみが加わりました。木村さんは「既存の手段を利用し、その価値を高める。ゆくゆくは市内の他地区と、はまる一歩バスで移動交流したいですね」と話します。

## 新たな交通体系の導入例



問 県庁地域交通政策課

☎0857-26-7641 ㊟0857-26-8107

<https://www.pref.tottori.lg.jp/koutuu/>



## 困る前の備え、楽しく探す

地域交通の維持に取り組んでいるのは、集落だけではありません。琴浦町では2019年12月、商工会青年部がレンタカーを使って、帰る方向が同じ買い物客を相乗りで自宅まで送る「琴浦愛乗りサービス」の実証実験を行い、本年度中の実施に向けた調整を進めています。県もこれから、地域のニーズに応じた複数の交通体系鳥取モデル（左欄参照）の導入を支援します。

問 県庁中山間地域政策課 共助交通  
☎0857-26-7129  
㊟0857-26-8107  
県庁地域交通政策課（地域交通）  
☎0857-26-7641  
㊟0857-26-8107

は、家族や近所の人が代わりに買い物してくれる、循環バスが近くを運行しているなど、現時点では移動手段に困っている状況ではありません。皆さんの地域でも本当に困る前に、実情に合ったやり方を楽しみながら探し、備えておくと安心です。



# 取材メモ

南部町の住民団体「河畔倶楽部」は城山公園、法勝寺川土手などに植栽し、自らの誇りとたたえる桜並木を、約70年にわたって維持管理し続けています。



てんぐ巢病による奇形の枝(写真枠内)や落ちる危険のある枯れ枝を除去。病変部の見つけ方は樹木医に学んだ先輩会員から受け継ぐ(写真提供=河畔倶楽部)

## 誇りの桜、守り継ぐ

### かはんくらぶ 河畔倶楽部

1951(昭和26)年4月、西伯町(現南部町)に発足した奉仕団体「河畔倶楽部」は同年8月、法勝寺城跡の城山を住民憩いの公園にと整備し始めました。当時、竹が生い茂って昼でも薄暗く、付近の住民が敬遠していたこの一帯をまず開墾。翌52(同27)年以降、城山、法勝寺川土手、妙見山に合わせて500本余りのソメイヨシノを植えました。始めた頃は「山に桜を植えても育たない」と冷やかな声が聞かれたものの次第に理解され、住民や町の協

力が得られるように。また、地域貢献を重視する同倶楽部は、行政や住民への保育所設置の呼び掛け、道標や観光案内板設置なども積極的に実施しました。

若者の一層の活躍を願い、満60歳で後進に道を譲る決まりの倶楽部の会員は現在、法勝寺地区に住む41〜58歳の有志8人。減少傾向にあるものの、自営業、造園業、公務員などさまざまな職種の会員が、桜並木の保全にいそしんでいます。活動範囲は城山公園、法勝寺川土手周辺。3月と11月には、てんぐ巢病(※)による奇形や枯れた枝の除去、6月と9月は下草刈りなどを約70年続けています。

こうして管理してきた桜も樹齢70年近くになります。南部町は2016(平成28)年、樹木医である鳥取大学農学部の日置佳之教



桜は南部町の花。法勝寺川の土手に5.3km続く桜並木(写真提供=南部町)

授の協力の下、法勝寺川土手の桜の樹木診断と生育状況調査を実施。植栽間隔の狭さが互いの生育を阻害しているなどの調査結果を踏まえ、18(同30)年から2年間かけて間伐が行われました。

「満開の桜を見ると、ここに住んでいることを誇りに思う」と話すのは、桜を見て育った会長の内田誠さん(だまこ)。その桜を守る活動もまた誇り。内田さんは「楽しいからこそ続けられる。この桜並木を将来に残したい」と続けます。

#### 取材を終えて

河畔倶楽部会則には本気度が試される入会条件が規定されています。これをクリアした会員の皆さんに深い地元愛を感じました。(か)

※カビにより枝の一部がこぶ状になり、そこから細い枝が多数発生する。病巣基部のこぶを含めて枝葉を切除し、焼却して防除する。

株式会社遠藤農園 ガーデンデザイナー

えんどう かよこ

## 遠藤 佳代子 さん

「庭から始まる楽しい生活」を提案するガーデンデザイナー。一級造園施工管理技士のほか庭造りに関わる複数の資格を持つ。2013(平成25)年開催の「第30回全国都市緑化とっとりフェア」でポール・スミザーさんに出会い、ナチュラルガーデン(※)を学ぶ。八頭町在住。



遠藤さん手作りの紙芝居。ナチュラルガーデンとは何かを伝える内容



### 庭造りへの関わりはいつから

21歳の時に、姉に誘われて初めてカナダのリゾート都市ウィスラーを訪れました。そこで、景観の美しさはもとより、人々が自然や花に囲まれた暮らしを大切にしている光景に感動しました。すっかり気に入って、その2年後に再びカナダへ。1年の滞在期間中に「こんなふうには花や緑にあふれ、美しく心地良い環境を私もつくりたい」と強く思うように。そんな時、私のやりたい事は家業の造園業で可能になるのでは、とふと思いつき、帰国して入社。庭造りを学びながら、お客さまに寄り添うガーデンデザインを提供し、緑あふれる庭々がつくる美しい町への一歩を踏み出しました。1999(平成11)年、会社がガーデンショップをオープン、そこを拠点にガーデニング教室も始めました。

## 緑へのあふれる思い伝える

～植物の力で美観のまちづくり～

### ポール・スミザーさんに学んだ事は

鳥取県の山や海などの自然を手本にした、無農薬・無肥料で環境にやさしくて、手入れをあまり必要としない庭造りの方法を学びました。環境に合った植物を選ぶことで地域の特徴を植栽に生かすこの方法は、地元の「らしさ」や「良さ」を見直すきっかけになりました。



八頭町から管理運営を委託された船岡竹林公園をナチュラルガーデンの手法で彩る。学んだ事への恩返しができるかと遠藤さん(写真提供=(株)遠藤農園)

### 長く続ける地域活動への思いは

ガーデンショップ開店と同時期に仲間と始めた国道29号線沿いの除草や花植えのボランティア活動は20年。地域の町を植物で彩り、子どもたちが植物に触れる機会を増やすことで、ウィスラーで私が味わった感動を伝えたいです。



国道29号線沿いでの植栽ボランティア活動には地元の子どもたちも参加(写真提供=遠藤さん)

※ナチュラルガーデンとは、肥料や農薬を一切使用せず、植物が本来持っている力や性質を生かした、環境にやさしい庭造りの手法。ポール・スミザーさんは、日本におけるナチュラルガーデンの第一人者。

## 当事者とその家族に寄り添う ～盲ろう者支援センターに相談を～

### 盲ろう者をサポート

#### ■コミュニケーション訓練

盲ろう者のコミュニケーション方法は、しよくしゆわ触手話やゆびてんじ指点字などさまざま。その人に最適な方法を訓練します。

##### 音声会話

聴力が少しある人に、耳元または補聴器のマイクに向かって話す。



##### 触手話

相手の手話が見えない人は、手話の形を触って読み取る。



##### 弱視会話

視力低下、視覚が狭いなどの状態に合わせて見える範囲で手話を表し、読み取る。



##### 指点字

点字タイプライターの代わりに、左右の人さし指から薬指の6指に直接打って、読み取る。



#### ■通訳・介助員の派遣・養成

盲ろう者の外出時に、移動とコミュニケーションを支援する通訳・介助員を無料で派遣します。初めての利用には、登録が必要。詳細はセンターへお問い合わせください。

また、通訳・介助員を養成する講習会も開催しています。12頁をご覧ください。



(写真提供=全て、鳥取県盲ろう者支援センター)

盲ろう者(視覚と聴覚に重複して障がいのある人)が地域で生活するには三つの困難があります。それは「移動」「情報入手」「コミュニケーション」。鳥取県盲ろう者支援センターは、当事者やその家族をサポートしています。身近に困っている人がいたら、センターにご相談ください。

県内で暮らすおよそ70人の盲ろう者のうち、センターが支援しているのは現在約30人。「補助具を使いたいが、申請はどうしたら」「周りに迷惑を掛けないように外出したい」など当事者の相談のほか、「自分に何かあったときにどうしたら」と家族からも相談が。センターは情報提供や通訳・介助員の同行、適切な機関への橋渡しなどによって丁寧に対応しています。

また、コミュニケーション訓練や県内各地での交流会も開催。障がいの程度や発症時期などによりコミュニケーションの方法は異なります。

センターではその人に最適な方法を共に見つけ、意思伝達ができるように訓練。交流会で互いの意思を伝え合い、困り事を共有することから解決につながる場合も。センター事務局長の菅澤則夫すがさわのりおさんは「同じ立場だからこそ分かることがある。集まることはとても大事」と話します。

### 鳥取県盲ろう者支援センター

#### ■開所時間

午前8時30分～午後5時30分(平日のみ)

#### ■場所

米子市加茂町



☎0859-30-3830 F0859-21-1537

✉t-db-sc@tottoridb.jp

https://tottori-db.com/tottoricenter/

### 第29回全国盲ろう者大会

全国の盲ろう者とその家族、通訳・介助員などが一堂に会し、情報交換を行う「全国盲ろう者大会」。今年も鳥取県で開催されます。

詳細は、お問い合わせください。

📅 8月28日(金)～30日(日)

📍 米子コンベンションセンター(米子市末広町)

📍 鳥取県盲ろう者支援センター

(左記を参照)



県庁障がい福祉課

☎0857-26-7201 F0857-26-8136

✉shougaiukushi@pref.tottori.lg.jp



## 先進技術で体制整備 ～県立中央病院、がん医療を強化～

### 全がんの75歳未満年齢調整死亡率 (男女計 人口10万対)

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(人口動態統計)

表は出典元データを用いて作成。

順位	2015	2016	2017	2018
1	青森県 (96.9)	青森県 (93.3)	青森県 (88.9)	青森県 (91.1)
2	秋田県 (91.2)	秋田県 (87.4)	鳥取県 (86.0)	北海道 (81.6)
3	鳥取県 (88.1)	北海道 (85.6)	北海道 (84.1)	秋田県 (80.0)
4	北海道 (87.7)	鳥取県 (84.1)	秋田県 (83.8)	長崎県 (78.7)

2018年の鳥取県の同データは72.2(18位)

### がん相談支援センター(中央病院2階)

専門スタッフ(がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー)が相談を受けます。来室時は、あらかじめ日時や相談内容を電話で伝えてもらうと、相談がよりスムーズです。

■受付時間/平日 午前8時30分～午後5時

☎0857-32-8181(直通)

### 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

2019年9月に導入された「ダ・ヴィンチ」によって、より精緻に行えるようになりました。

#### ■特徴

- 人の手より大きな可動域。
- 手ぶれ補正機能がある。
- 術中の画像が高画質で立体的。

#### ■中央病院で実施可能な手術

前立腺がん、食道がん、胃がん



### 高精度放射線治療装置

県内初の先進装置が中央病院に導入され、がん病巣への精密な放射線照射が可能になりました。この治療は、高齢や他の病気のために手術や薬物療法が受けられない場合でも選択肢が広がります。



### がんゲノム医療

がんゲノム医療は、多数の遺伝子を同時に検査(がん遺伝子パネル検査)し、一人一人の体質や病状に合わせた診断や治療などを行う医療です。県内では、鳥取大学医学部附属病院と中央病院がこの検査を行っています。

中央病院は地域がん診療連携拠点病院として、相談から診断・治療、緩和まで一貫した医療体制を整えています。国立がん研究センターのがん統計によると、近年の鳥取県の75歳未満年齢調整死亡率(※)は国内で高い状況。2018(平成30)年は18位と好転したものの、がん死亡率減少が喫緊の課題であることに変わりはありません。がん治療には手術、放射線、薬物の三大療法があります。

中央病院は治療に先進技術を導入。手術にはロボットを活用し、より精緻な内視鏡手術が可能に。放射線療法には先端照射技術を導入、より精密で患者の負担が少ない照射を実現。さらに、がん遺伝子に効果的な診断・治療を行うがんゲノム医療外来への紹介を4月から受け付け。こうした先進的な医療の他、がんに関する相談はがん相談支援センターが受けています。ぜひご利用ください。



問 県立中央病院

☎0857-26-2271 F 0857-29-3227

✉ chuoubyouin@pref.tottori.lg.jp

https://www.pref.tottori.lg.jp/chuoubyouin/



※死亡率を人口に対する死亡数で比較すると、高齢者が多ければ高く、若年者が多ければ低くなる傾向があります。年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整しおえた死亡率が年齢調整死亡率です。



ご案内

無

## 県の取り組み、出向いて説明します

県は、住民や企業などが開催する集会に職員が出向き、県の事業や課題などを分かりやすく伝える「出前説明会」を行っています。

利用希望者は下記の必要事項を申込書に記載の上、申し込みを。詳細はウェブページをご覧ください。

■必要事項

- ①希望テーマ(県政に関するもの、具体的に)
- ②開催希望日時、開催場所、参加人数(年齢層)
- ③申込者情報(団体・会社などの名称、代表者名、所在地、担当者の氏名、電話番号、メールアドレス)

■申込方法/ウェブページ(応募フォーム)、郵送、ファクシミリ、電子メール、持参

■申込書/ウェブページに掲載 ※任意の様式でも可。

■申込期限/開催希望日の2週間前

※時間は質疑応答、意見交換を含め2時間程度まで。会場使用料は申込者負担です。

☎ 県庁県民参画協働課

〒680-8570 鳥取市東町1-220

☎0857-26-7848 ☎0857-26-8112

✉kenminsankaku@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/demae/>



催し物

## 開通1周年西いなばウォーク

山陰道「鳥取西道路」の全線開通1周年を記念して、道の駅・西いなば気楽里(鳥取市鹿野町)周辺を歩く「西いなばウォーク」を開催します。当日は、振る舞いコーナーやお楽しみ抽選会なども用意。西いなば地域に広がる春の穏やかな田園風景を眺めながら、ご自身のペースで歩いてみませんか。詳細はウェブページをご覧ください。

☎5月9日(土)

■申込方法

電子メール、ファクシミリ(申込書はウェブページに掲載)

■定員/200人程度

■申込期間

4月1日(水)~24日(金)  
(定員に達し次第、受け付け終了)



☎ 西いなば実行委員会(鳥取市西商工会内)

☎0857-82-0809 ☎0857-82-0884

✉nishiinaba@gmail.com

<https://torinishiroad.com/>



ご案内

無

## イクメン・ケアメンセミナー

県は、男性の家事・育児・介護などへの参加を促進するため、企業や団体が開催する社内研修(イクメン・ケアメンセミナー)へ講師を無料で派遣します。ぜひご活用ください。

■研修テーマの例

家事と育児の役割分担、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)、家族内の介護の関わり方 など

■要件

- 県の企業や団体が県内で開催
- 参加者は社員を中心に10人以上
- 講師による講演時間は1時間以上 など

■主催者が負担する費用

講師への謝金および旅費を除く経費

■申込方法

電話、電子メール

☎ 県男女共同参画センター(月曜日休館)

☎0858-23-3901 ☎0858-23-3989

✉yorinsai@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/254644.htm>



ご案内

## 県公金の納付がアプリでできます

スマートフォンから「PayPay」または「LINE Pay」のアプリを使って、県公金の納付ができるようになりました。アプリを起動し、納入通知書のバーコードを読み取ればいつでもどこでも納付可能。詳細は下記ウェブページおよび各アプリのウェブサイトをご覧ください。

■対象となる県公金

自動車税をはじめとする県税、県立高校の授業料、県営住宅家賃、行政財産使用料など  
(奨学金の返還金ほか一部対象外あり)

■アプリで納付できる上限金額

30万円

■注意事項

○アプリによる支払いでは領収証や納税証明書は発行されません。必要に応じてアプリの納付履歴をご利用ください。

○口座振替による納付手続きをしている人は、利用できません。

☎ 県庁会計指導課

☎0857-26-7437 ☎0857-26-8147

<https://www.pref.tottori.lg.jp/289727.htm>



## ご案内

### 鳥取療育園および中部療育園の移転

鳥取療育園および中部療育園は、成長・発達過程に心配のある子どもとその家族に対して、相談や外来診療、個々の発達に応じた通園活動を行っています。

このたび、支援の充実を図るため、4月末までに順次施設を下記の場所に移転するので、お知らせします。施設の利用について相談がある場合は、下記までお問い合わせください。

施設	移転先
鳥取療育園	鳥取市江津730 ※中央病院に隣接
中部療育園	倉吉市上井503-1

#### 県立鳥取療育園



☎0857-29-8889 F 0857-29-9300  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/kirari/>

#### 県立中部療育園

☎0858-22-7191 F 0858-22-7192  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/chubu-ryouikuen/>



## 募集

### ワールドマスターズゲームズ 参加者

世界最大級のスポーツ祭「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の参加者を募集中です。日頃親しんでいるスポーツで世界各国の人たちと対戦しませんか。

📅2021年5月14日(金)～30日(日)

📍鳥取県を含む関西一円

■参加条件／おおむね30歳以上(競技によって異なる)

■競技種目／35競技59種目

(県内)アーチェリー、自転車、柔道、グラウンド・ゴルフ  
 (県外)野球、サッカー、バレーボール、卓球、水泳 など

■料金／国内在住者15,000円(5競技種目まで出場可)

■申込方法／大会公式ウェブサイト 下記URL(県ウェブサイト)からアクセス可

■申込期限

21年2月28日(日)※先着順

大会ボランティアも募集中。  
 詳細はウェブページをご覧ください。



大会マスコット「スフラ」

#### 県庁関西ワールドマスターズゲームズ推進課

☎0857-26-7912  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/288208.htm>



## ご案内

無

### 悩みをLINEで相談できます

学校、仕事、人間関係、病気に関する悩みなど、一人で抱え込まず相談しませんか。

県は、LINEを活用した相談窓口「とっとりSNS相談」を設置しています。専門の相談員が対応しますので、気軽にご相談ください。

■実施日／毎週月曜日および次の期間

4月 7日(火)～10日(金)

5月 7日(木)・8日(金)

8月20日(木)～25日(火)

2021年1月 5日(火)～8日(金)

■時間／午後5時～9時

■相談方法



LINEの「とっとりSNS相談」(左のQRコードまたはLINE ID[@tottorisns])から友だち登録の上、相談してください。

#### 県庁健康政策課

☎0857-26-7227 F 0857-26-8143  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/279349.htm>



## ご案内

### HACCP義務化がスタート

HACCPとは食品の衛生管理方法の一つで、食品を扱う事業者が、食中毒や異物混入などをなくす・減らすために、日々の確認や記録により工程を「見える化」するものです。食品衛生法の改正に伴い、食品を扱う全ての事業者は、6月以降、原則このHACCPに沿った衛生管理の導入を求められます。導入の手引書や研修会などを活用し、早めに準備してください。詳細はウェブページをご覧ください。

■HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の例

①衛生管理ルールの作成→②ルールに従った日々の確認・記録→③振り返り・対応策の検討

■相談窓口

東部	中部	西部
鳥取市保健所 ☎0857-22-8111 (市コールセンター)	中部総合事務所 ☎0858-23-3157	西部総合事務所 ☎0859-31-9321

#### 県庁くらしの安心推進課

☎0857-26-7284 F 0857-26-8171  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/289149.htm>





## 募 集

## 就農スキルアップ研修 受講生

県内就農を希望する社会人を対象に、栽培の技術や知識の習得に向けた研修の受講生を募集します。

## ■内容

野菜	研修期間	募集期間	定員
ミニトマト	6/10(水)～ 10/9(金)	4/1(水)～ 4/30(木)	各5人 程度
ブロッコリー	7/8(水)～ 11/6(金)	5/1(金)～ 5/31(日)	
白ネギ	9/9(水)～ 翌年1/15(金)	7/1(水)～ 7/31(金)	

■受講料/各40,000円

## ■募集要項・申込書

東部農林事務所、総合事務所農林局、問い合わせ先などで配布。ウェブページから印刷もできます。

## ■申込方法/郵送、持参(平日のみ)

## ■ 県立農業大学校

〒682-0402 倉吉市関金町大鳥居1238

☎0858-45-2411 📠0858-45-2412

<https://www.pref.tottori.lg.jp/272287.htm>



## 募 集

## 国際マンガコンテスト 作品

第9回まんが王国とっとり国際マンガコンテストの作品を募集します。今回のテーマは「風」。個性豊かな作品をお待ちしています。

■募集部門/1コマ、4コマ、ストーリー

■応募期間/4月1日(水)～8月31日(月) 必着

## ■賞金

○最優秀賞 1作品 50万円

○優秀賞 2作品 10万円 ほか

■応募要領/ウェブページに掲載



前回最優秀作品「ガパオライス」  
(INVERTさん作)

## ■ 県庁まんが王国官房

☎0857-26-7801 📠0857-26-8307

[https://www.pref.tottori.lg.jp/mangacontest\\_09/](https://www.pref.tottori.lg.jp/mangacontest_09/)



## 試 験

## 第1回高等学校卒業程度認定試験

高等学校を卒業していない人の学習成果を適切に評価し、高等学校卒業者と同等以上の学力があることを文部科学省が認定する試験です。

合格者には大学・短期大学・専門学校の受験資格が与えられるほか、就職・資格試験などに活用できます。詳細はお問い合わせください。

■8月12日(水)・13日(木)

■ 県民ふれあい会館(鳥取市扇町)

■受験資格/2021年3月31日までに満16歳以上になる人。ただし、大学入学資格を有している人は除く。

■受験料/3科目以下4,500円、4～6科目以下6,500円、7科目以上8,500円

■受験案内/4月6日(月)から問い合わせ先および各教育局などで配布。

## ■出願期間

4月6日(月)～5月12日(火)消印有効

## ■ 県教育委員会事務局高等学校課

☎0857-26-7917 📠0857-26-0408

<https://www.pref.tottori.lg.jp/koukou/>



## 募 集

## 盲ろう者向け通訳・介助員講習 受講者

盲ろう者(視覚と聴覚に重複して障がいのある人)を支援する「通訳・介助員」の養成講習会の受講者を募集します。

■5月7日(木)～11月26日(木) 午前9時～正午  
全28回(おおむね毎週木曜日)

■ 所 ハワイアロハホール(湯梨浜町はわい長瀬)ほか

■対象/高校生以上

※手話、点字などを初めて学ぶ人も受講可。

## ■内容

コミュニケーション方法、移動の介助方法 など

■定員/20人(申し込み多数の場合は抽選)

■費用/3,300円(テキスト代/全28回)

■申込書/問い合わせ先で配布。ウェブページから印刷もできます。

■申込方法/郵送

■申込期限/5月1日(金)必着

## ■ 鳥取県盲ろう者支援センター

〒683-0823 米子市加茂町2-108 SANKIビル2階

☎0859-30-3830 📠0859-21-1537

<https://www.pref.tottori.lg.jp/177271.htm>



■事前申し込み不要 ■参加、入場など無料 ■要約筆記あり ■手話通訳あり

## 試験

### 公立学校教員採用候補者選考試験

2021年度から県内の公立学校で勤務する教員の採用候補者選考試験を実施します。詳細は受験案内をご覧ください。

第1次試験日	試験区分	会場
6/28(日)	小学校教諭、特別支援学校教諭	鳥取市 関西(詳細未定)
7/5(日)	中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭	鳥取市

- 受験案内・申込書  
4月28日(火)から県庁県民室、総合事務所、各教育局などで配布。ウェブページから印刷もできます。
- 申込方法・期間  
ウェブ 4月28日(火)～5月15日(金)  
郵送、持参 4月28日(火)～5月20日(水)消印有効

#### 問 県教育委員会事務局教育人材開発課

〒680-8570 鳥取市東町1-271  
☎0857-26-7513 F 0857-26-8094  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/95168.htm>



## こちら鳥取県警察

### 児童の交通安全



春は入園・入学の季節です。過去の統計によると、県内で発生した交通事故のうち、年齢別では7歳が最も高く、児童の交通事故は登下校時に集中するという結果に。通学路や通行の多い道路で、児童の交通事故を防ぐために、次の点に注意してください。

- 保護者の皆さま  
児童は興味を引くものがあれば、夢中になり、突然道路に飛び出すことも。飛び出さないことはもちろん、道路の安全な渡り方や注意が必要な場所、交通ルールなどを教えてください。
- 車両を運転する皆さま  
小学校の周辺や、幅の狭い道路を通行するときは、特に注意して走行を。また、横断歩道は歩行者が絶対優先。歩行者が横断または横断しようとしているときには、横断歩道の前で確実に一時停止し、通行を妨げないこと。自転車は原則、車道の左側走行を心掛けてください。

#### 問 県警察本部交通企画課

☎F 0857-23-0110(代表)  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/283925.htm>



## 試験

### 県職員(病院薬剤師)採用試験

2021年度から県立病院で勤務する薬剤師(正職員)の採用試験を実施します。詳細は受験案内をご覧ください。

- 6月6日(土)
- 所 大阪府、岡山県
- 受験資格/1961(昭和36)年4月2日以降の生まれで、薬剤師免許取得(見込み)の人  
※薬剤師免許取得済みの人には、合格後の採用時期について相談に応じます。
- 試験内容  
専門試験(記述式)、面接試験
- 受験案内・申込書/4月中旬以降に県庁県民室、県立病院などで配布。ウェブページから印刷もできます。
- 申込方法  
郵送、持参
- 申込期限  
5月22日(金)消印有効

#### 問 県病院局総務課

〒680-8570 鳥取市東町1-220  
☎0857-26-7885 F 0857-26-8135  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/byouinkyoku/>



## 試験

### 県職員(大卒・民間経験)採用試験

2021年度から県で勤務する職員の採用試験を実施します。詳細は受験案内をご覧ください。

- 6月28日(日)
- 所 鳥取市、米子市、東京都、大阪府
- 受験資格  
○大学卒業程度/1985(昭和60)年4月2日から1999(平成11)年4月1日までに生まれた人(5月10日(日)実施予定の事務(キャリア総合コース)との併願不可)  
○民間企業等経験者対象/1961(昭和36)年4月2日以降に生まれた人
- 受験案内・申込書/4月下旬以降に県庁県民室、総合事務所などで配布。ウェブページから印刷もできます。
- 申込方法  
ウェブページ、郵送、持参
- 申込期限/4月30日(木)～5月19日(火)消印有効  
(ウェブページは5月19日(火)午後5時まで)

#### 問 県人事委員会事務局

〒680-8570 鳥取市東町1-271  
☎0857-26-7553 F 0857-26-8119  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/jinji/>





## 手話を覚えてみよう

「いただきます」  
「ごちそうさま」

花見の席で使ってみましょう。

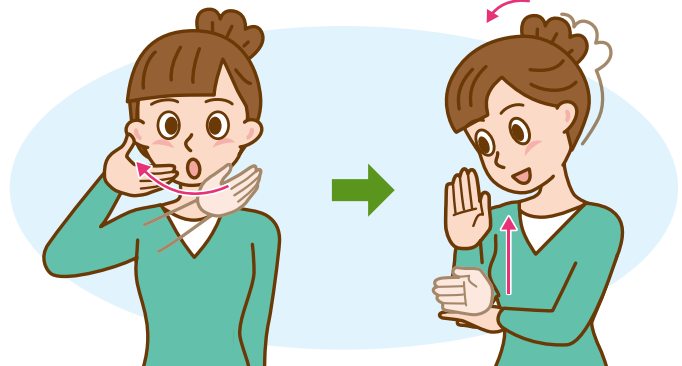
「ごちそうさま」は「おいしい」と「ありがとう」の手話で表します。

※手話の表現は一例です。



「いただきます」

両手のひらを合わせ、  
拝むしぐさをする



「おいしい」

右手のひらで顎を左から  
右へ撫でる

「ありがとう」

左手甲に小指側を直角に  
置いた右手を上げながら  
頭を下げる

監修／公益社団法人  
鳥取県聴覚障害者協会  
(米子市旗ヶ崎)

同協会では、手話監修のほか、手話講師派遣、県民向けミニ講座の開催、手話通訳者・要約筆記者の派遣・養成、字幕付き映像物の貸し出しなども行っています。



☎0859-30-3720  
F 0859-30-3131  
<https://torideaf.jp/>



## 県広報のお知らせ

Prefectural public relations

### 県公式ウェブサイト「とりネット」

「とりネット」は、英語、簡体中文、繁体中文、韓国語、ロシア語、ベトナム語への自動翻訳機能があります。県政だよりのバックナンバーも掲載しています。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/>



県政テレビ番組



旬の県政情報をコンパクトにお届けします。

山陰放送(BSS) 不定期土曜日 午後9時54分～10時  
<https://www.bss.jp/marutto/>

### 県公式ツイッター

トリピーが鳥取県の観光情報、注目情報などを発信。



<https://twitter.com/tottoripref>



「とりネット」および県観光サイトの  
新着情報や報道提供資料を発信。



[https://twitter.com/tottori\\_kouhou](https://twitter.com/tottori_kouhou)

### 「とっとり県政だよりの」の配布・設置場所

県政だよりは、自治会の皆さまの協力のもと各世帯にお届けしているほか、県庁広報課・県民室、総合事務所および県内のローソン、ファミリーマート、ポプラ、イオンなどにも置いています。

また、点字版や録音版も作成しているのので、希望者は県庁広報課にお問い合わせください。

☎ 県庁広報課

☎ 0857-26-7840 F 0857-26-8122

✉ [kouhou@pref.tottori.lg.jp](mailto:kouhou@pref.tottori.lg.jp)

DATA

県人口／554,461人〔男 265,112人、女 289,349人〕 世帯数／220,378世帯 (2020年2月1日現在推計)

※「とっとり県政だよりの」1部当たりの経費(制作・印刷・発送)は20.8円です。



## 読者の声 (2月号の意見・感想から)

- 特集を読み、私たち一人一人が中山間地域の抱える課題に向き合い、助け合う姿勢やコミュニティを作り出すことが大切だと感じました。(30代)
- 江府町の地域医療や鳥取大学医学部サークル「ちいけん」の活動に明るい未来を見るようでした。住民との触れ合いを通して、地域医療を学ぶ姿にエールを送ります。(50代)
- 廃材を使った寄せ木細工の工房を開設された「白谷工房」の記事が印象に残りました。保育園の利活用も無駄がなくていいですね。(40代)
- 手話の勉強をしているので、毎月「手話を覚えてみよう」は切り取り、覚えるようにしています。これからもお願いします。(10代)



2月号には497人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。

- 管理型最終処分場の整備に当たっては、候補地はもちろん、候補地以外の県民も必要性を理解し関心を持つことが大切です。(60代)
- 「おもちゃ病院ドクター」の木村昭彦さんに娘のおもちゃを直していただきました。物を長く大事に使う気持ちを育んでいきたいです。(30代)



## 県産品プレゼント



令和元年度  
食のみやこ鳥取県  
特産品コンクール  
最優秀賞



### ほとり食パンなど3種類セット

原料の小麦粉には、大山の麓で栽培された小麦を100%使用。もちり食感の「ほとり食パン」、小麦の風味を楽しめる「全粒粉食パン」、ほんのり甘い「ミルク食パン」をそれぞれ1個ずつセットにして。

☑ パン工房ほとり (鳥取市良田)

<https://hotori.tottori.jp/>



### 応募方法

下のクイズの正解者の中から抽選で5名様にプレゼント。クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、右下のいずれかの方法でご応募ください。



「コミュニティ・〇〇シェアリング」は、支え合う地域づくりを目的とした、会員制グループによる自動車の共同使用サービスです。

〇〇に入る文字は次のうちどれでしょう。

- ① マチ
- ② カー
- ③ エコ

※ヒント：特集をご覧ください

- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール [dayorip@pref.tottori.lg.jp](mailto:dayorip@pref.tottori.lg.jp)
- 県ウェブページ応募フォーム <https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>



締め切り：4月20日(月) 必着

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
※はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。

◎2月号のクイズの答えは「③卒」でした。



## 大豆入りドライカレー

大豆を硬めに揚げて香ばしさとかみ応えをアップ。

【協力】日野町

### 実践しよう! かみミン<sup>さんまる</sup>グ30

「かみミン<sup>さんまる</sup>グ30」とは、一口30回以上かむことを目標として、厚生労働省が提唱したキャッチフレーズです。よくかんで食べることで、年代に応じてさまざまな効果が得られます。今月からかみかみレシピで試してみましょう。

#### 乳幼児～学齢期

- ・脳を育て、食べることの基礎をつくる
- ・健全な乳歯列・かみ合わせの育成

#### 成人期

- ・早食いや食べ過ぎを防いで肥満や生活習慣病の予防

#### 高齢期

- ・口腔機能の低下による誤えん、窒息、誤えん性肺炎の予防

### 【材料】(2人分)

1人分 512kcal 塩分 1.0g

乾燥大豆……………12g	片栗粉……………小さじ2/3	米……………1合
合いびき肉……………150g	ニンニク……………小さじ1/3	油……………適量
水……………90ml	ショウガ……………小さじ1/2	
(A) タマネギ……………1/2個	(B) コンソメ……………小さじ1	
ナス……………1本	しょうゆ……………小さじ1/2	
トマト……………1/3個	砂糖……………小さじ1	
ピーマン……………1個	カレー粉……………小さじ1/2	
ニンジン・セロリ……………各1/10本		

### 【作り方】

- ①乾燥大豆は軽く水洗いし、水に2時間浸けてから油で揚げる。(A)は1cm角に切る(ナスは皮をむいてから切り、水に浸けてあく抜きをしておく)。
- ②鍋に油を熱して、みじん切りにしたニンニク・ショウガを炒め、合いびき肉とトマト以外の(A)もさらに炒める。火が通ったら水とトマトを加えて煮る。
- ③煮立ったらあくを取り、(B)を加え弱火で煮て、水溶き片栗粉でとろみをつける。炊いたご飯を器に盛り、カレーをかけ、揚げた大豆をトッピングする。

歯・口腔の健康について

<https://www.pref.tottori.lg.jp/hanokenkou/>



今月から食べる力を育むレシピを掲載します。

とりぎん文化会館 梨花ホールリニューアル記念事業

# パリ管弦楽団 鳥取公演

10月23日(金) 開演/19:00

会場/とりぎん文化会館 梨花ホール 主催:(公財)鳥取県文化振興財団、BSS山陰放送

SS席 20,000円 / S席 15,000円  
 全席指定 A席(一般) 12,000円 / (U22) 6,000円  
 B席(一般) 7,000円 / (U22) 3,500円

※U22は公演当日に22歳以下の方。入場の際は身分証等の提示が必要となります。

一般発売: 5/23(土)  
 友の会プレミアム会員先行販売: 4/25(土)~26(日)  
 インターネット・チケットサービスWEB先行: 4/27(月)~29(水・祝)  
 ローソンチケット先行(自動配席): 5/1(金)~6(水)

未就学児 入場不可

お問い合わせ とりぎん文化会館 〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5  
 Tel.0857-21-8707 詳しくはwebにて▶ <http://torikenmin.jp>

※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。